

5月4日 (みどりの日)

理科部は北大植物園巡検を行いました

マツ科の分類

マツ科のマツ属、カラマツ属、トウヒ属、モミ属の4種類を区別しました。

右下の写真は、はっばの長いマツ属です。矢印の間は去年成長した枝です。右の矢印には開いて種を落としたマツボックリが付いています。左の矢印には今成熟中で種子を持つマツボックリが着いています。このマツボックリは去年雌花だったものです。

左下の写真は、マツ属、トウヒ属、カラマツ属のマツボックリ（球果）です。

上の3つがマツ属、左下がトウヒ属、

右下がカラマツ属です。



トリカブトとニリンソウ

トリカブトとニリンソウの写真です。間違えないように気を付けましょう

↓こちらがトリカブト

↓こちらがニリンソウ



トリカブトは強い毒を持っているのでニリンソウと間違えて食べないようにしましょう。

植物園の中の博物館にはたくさん北海道ならではの動物剥製がありました。



エトピリカ

シマフクロウ

明治期に絶滅したエゾオオカミ

まとめ

今回の巡検で、マツ科の植物をはじめ、春の植物の特徴や北海道の動物、また北大の初期のころの様子などに興味を持ってました。



特にマツ科の植物について詳しくなりました。

いろんな巡検を経験して自然のことをもっと知りたいと思いました。

1年 編集